



4/18 進路ガイダンス開催

18日の総合的な学習の時間に、ベネッセより講師を招いて、これからの進路実現に必要な取り組みについて話を聞きました。講師は高校時代、野球に明け暮れ、全く進路を真剣に考えていなかったと、後悔した経験を持つ入社3年目の方でした。数学は4点の時もあったとか。しかし、一念発起して浪人時代1日10時間勉強し大学合格。力強い言葉で、スタートにやや出遅れているみんなを「まだこれからだ」と強く励ましてくれたのではないのでしょうか。

以下は講演内容の要約です。

●今の時代とは？

外国人との就職競争の時代。どんな環境になったとしても対応できる人間として必要なことは、「課題発見→目標設定→努力持続」の力

●どんな進路であれ、勉強なしでは通用しない

学力不足の進学者の実態・・・勉強せず入学すると・・・

専門学校の場合

「学校側が求めているが学力と入学生の学力にギャップがある。」

「就職活動や国家資格試験も学校任せである。90分の授業に耐えられない。」

大学の場合

「推薦、AO入学者の学力が一般受験、センター受験者の学力より低い。」

「就職で苦勞するが、自ら努力しない傾向がある。」

高校時代に自学できる能力やノウハウを身につけることが今後に生きる。

(自分なりの、学習できる場所、時間、学習方法を見つけること。専門学校では資格試験の連続です。社会人になっても資格試験や昇進試験はあります。その時に自分で勉強する習慣とやり方がわかっていなければ・・・困ります。)

●夏までにやること

- ・1年2年の教科書の復習(センター試験出題の80%がこの範囲)
→基礎を固める、苦手をつぶす(苦手科目=得点アップの源)
11月から現役は飛躍的に伸びる(そのためには土台固めを夏までに)
- ・授業中心(予習-授業-復習のサイクル)継続
- ・模試で全国での**位置確認と弱点把握**
国語 古文漢文 「誰が」「どうした」を理解→古語と基本文法確認
英語 語彙文法の確認
数学 教科書の定理・公式と解法を確実に(特に2次関数、三角関数)
- ・最低 夏は200時間勉強(目標300時間) 寝る前に暗記物を

4/15~ 放課後通常補習はじまる(英数国)

先週から英数国でそれぞれ10数人規模ですが、補習が始まりました。受講者は是非補習を有効に利用してもらいたいです。注意して欲しいのは「補習したから勉強した気になるな」ということです。補習したから家庭学習しないのは本末転倒です。受験勉強は自学が基本です。校長がよく言われるように「孤独に耐える」気持ちで、自分でやることを忘れずに。

4/27~28 全統マーク模試(最初の全国模試)

10日の進路ガイダンス(年間進路計画確認)で模擬試験を受ける重要性を進路指導部より説明していただいた所、一気に受験者が増え、90名以上となりました。特に部活動をしている生徒も多く自宅受験を選択してくれました。決して安くない受験代を生かすも捨てるも自分次第です。受験前に過去問を1つでも解いてみる、受験後に解答を参考に復習する。この積み重ねです。点数に一喜一憂するのではなく、使いこなすことが「元を取る」ことになります。

日野校長による全員面接も始まりました

校長による3年生全員面接も先週15日から始まりました。日野校長は一昨年の着任当初から全員面接をされています。あまり他校では聞かないことですが、学校長の生徒に対する熱意によるものです。後悔せず、満足した形で高校を巣立って欲しいということで、時には厳しい質問もあるかもしれませんが、自分の姿を見てもらい、色々指導を受けて欲しいと思います。校長室への入退場の仕方や挨拶、服装、言葉遣い、内容などすべてが就職、進学面接に生きるものです。足りないところを知るチャンスでもあります。臆せず、話をしてください。